(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋における火災について(第三報)

平成 21 年 3 月 5 日東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所

本日午前8時57分頃火災報知器が発報し、定期検査中の当所1号機原子炉建屋エリア地下5階(管理区域)の原子炉隔離時冷却系ポンプ室で、発煙が確認されたことから、発見した協力企業作業員が初期消火を行うとともに、午前8時59分頃、消防署へ通報いたしました。なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

(本日午前9時30分お知らせ済み)

その後、消防署による現場確認が行われ、本日午前 10 時 36 分に鎮火が確認されました。また、初期消火にあたった協力企業作業員 1 名が顔に違和感を訴えたため、念のため救急車にて病院に搬送いたしました。なお、作業員の身体に放射性物質による汚染はありません。

(本日午前 10 時 50 分お知らせ済み)

現場を確認した結果、今回の火災は、原子炉隔離時冷却系*ポンプ分解点検の準備作業を行っていたところ、現場にて火気作業は行っていないものの、作業に使用する洗浄剤(危険物)に引火したものと推定しております。

なお、火災の消火にあたっては、消防署による鎮火確認の前に、自衛消防隊員(当社当 直員)が消火器を使用して午前9時27分に消火しております。

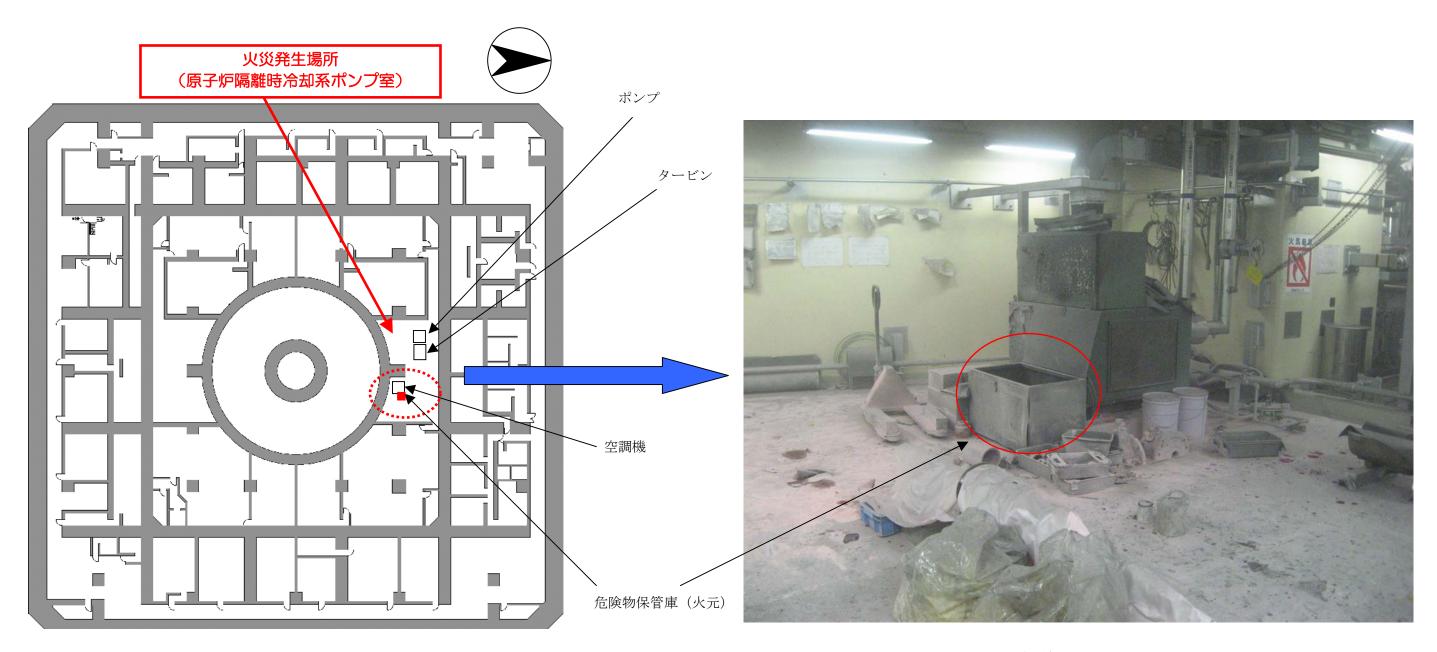
また、病院に搬送した作業員について、病院で診察の結果、左頬の軽度な火傷と診断されました。

今後、火災の原因について引き続き調査いたします。

* 原子炉隔離時冷却系

何らかの原因により、通常の原子炉給水系が使用不可となり、原子炉水位が低下した場合等において、 原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統。なお、本 系統は非常用炉心冷却系ではない。

以上



火災現場状況

柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋 地下5階

1号機 原子炉隔離時冷却系ポンプ室 火災状況図